

『INCHの楽しい仲間たち』 vol.8 その17

沖縄や北海道より気分的に近い島・台湾（その2） 佐伯 順弘（岐阜県）

Travel planning

DAY1 5th JAN NGO→TPE
DAY2 6th JAN TPE→KHH★
DAY3 7th JAN KHH
DAY4 8th JAN KHH
DAY5 9th JAN KHH→TPE→NGO

DAY2 (6JAN2017) 台北→高雄

0720 気分よく起床、洗顔およびホステルの設備を改めて確認するための探索。メモ

0830 廃棄物により体調の確認。よし。

0850 移動は午後からなので周辺地域の探索に出かける。曇天だが、半袖で十分な気温。台北は住んでいた高雄より気温が低いのだが、やはり台湾は台湾である。暖かい。



0905 探索の途中で見つけた食堂で魯肉飯（ルウロウファン）25元、米糕（ミーガオ）30元、計55元を食す。台湾の食べ物で外れた記憶はない。（ちなみに臭豆腐もおいしくいただく。）



朝から糖質多めだが、基本歩き回ってエネルギー消費は多いし、食べてすぐ動くので血糖値の急上昇については特に問題はない。

魯肉飯は台湾ではお馴染み、ソウルフードとも言える食べ物である。基本的に脂身多めの豚肉をじっくり煮込み、中華テイストに仕上げたものをご飯にかけて食べるものである。高雄でよくいていた店の魯肉飯には大きめの豚の

角煮が入っていてこれもまたおいしかった。とにかくこの魯肉飯はどこで食べても外れたことはない。米糕はいわゆる五目ごはん的なおこわだ。いずれも小ぶりの器で分量も軽めでよい。

0930 よさげなコーヒーショップがあったので、ほぼ反射的に入店、ラテ65元、サンドイッチセット25元、計90元をオーダー。さっき食べたばかりなのに、サンドイッチをあっさり付けてしまっていた。ま、旅はエネルギー消費量が多いからと言い訳しつつも明らかに糖質過多である。学生の頃の中国冒険旅行で身に着いた習慣はこれからも抜けそうにない。「腹が減ったから食うのではなく、面白そうなもの良さそうなものを見つけたら食う。」というものだ。もちろん、朝食2回などと身体を作っている格闘家じゃないんだからやめておいた方がいいに決まっているが、胃袋が対応する限り、何でも体験しなければその場所にいる意味がないと信じている。

「Coffee Jack」このコーヒーショップは覚えておこう。朝食を摂るために街歩きをただけなので、ホテルに戻り、少しグダグダする。病み上がりだということを忘れてはいけない。風邪薬と整腸薬を同時に飲む。問題はないであろう。歯を磨いて、荷物整理。部屋を出る前にドアに貼ってあるルームフィーを確認する。750-1000元（約3000-4000円）

1047 チェックアウト。既にネット決済してあるので瞬時に終わる。外へ。陽射しが強い。半袖でないと感じる。ここから、若者に人気と言われる西門町方面へ探索を進める。

この行程は荷物携行での移動だが、いつもつかっている旅行ザックZERO-CABINはとても背負いやすいので問題はない。昨夜の宿の系列である品格子西門店を発見。近くにYHもある。宿の選択肢が増えた。



1120 西門町発見。アニメなど日本関連の店多数。

1140 柳丁青茶（オレンジシユース+緑茶）50元。意外なほどの激ウマ。この店「橘子工坊」は西門町の入り口辺りにある。

それにしても、アニメショップやキャラクターグッズ、日本食の店が多い。中高生のオタクの皆さんには喜んでいただけるだろう。高校卒業と共にアニメの磁場から逃れた身としては若干ほろ苦い感情が沸き起こる場所であった。アニメーション制作による自己表現を目指したアーティストとしてのアニメファンであり、決して部屋中にポスターを張ったり、それっぽい服装で屯したりしたことはない。いわゆるオタクの皆さんとは一線を画していたと、誰も聞いていないのに、心の中で言い訳をしていた。

さて、そうこうしている内にそろそろ昼だ。高雄に移動することにする。

1155 西門站より MRT20 元。1 駅で台北車站へ。

台北車站の構内を高鉄 B3 の表示をたどって、台湾高速鉄道 HSR の乗り場へと向かう。

1210 チケット購入。台北～左營 1445 元

1221 左營に向けて出発。左營は高雄の新幹線駅である。日本の新幹線をベースに作られた台湾新幹線。お馴染み感が半端ない。車内で水を購入。20 元。

1420 左營到着。時刻表チェック。帰りは朝早いので、念のために確認しておく。



1430 MRT に乗り換える。左營～鹽埕埔 30 元



あ、佐々木希。台湾では日本人タレントが広告に出ていたりすることが少なくない。日本の製品なんだから、至極当然のことであろう。



1455 鹽埕埔着。「ただいま」っていう感じだ。

台湾での勤務を終えた後、台湾を訪れるときはいつもの地下鉄駅を使っている。そこから歩いて定宿に向かう。

1502 華王大飯店着。(残念ながらこのホテルは 2019 年 10 月に廃業してしまった。クラシックな雰囲気でも歴史もあり、それでいてリーズナブルという快適なホテルだったのに。新たな定宿を探さなければならぬ。) チェックイン 3 泊 23233 円。1011 号室

1508 日本のホテルならこの価格でこの広さはない。今までの少ない経験だけから判断すれば、日本のホテルは同価格でも圧倒的に部屋が狭い。

1620 探索に出かける。台湾のスマホを持っているので、プリペイドの契約のためにこれまたいつものスマホ屋に行く。3 日間トーク+ネットで 300 元。2 時間後から使えるとのこと。台湾では現地の友人に電話したり、地図を検索したりすることもあるので、確実な通信手段がほしい。これで一安心。ホテルに戻って、旅日記と会計メモを書く。

1840 夕食のため、探索に出かける。まずは地下鉄の駅に行き、交通カードに 100 元チャージ。昔、高雄に住んでいた時から使っていた交通系カードを今でも使っているのだ。(余談だが、ロンドンで使える交通系カードも大事に持っている。もちろん、チャージもしてある。当然、また訪れるからだ。) そのカードでバスに乗り、昔よく通っていた夜市に向かう。令雅夜市、自強夜市が交差する場所で、多くはここにある店で食べていた。近くに行きつけのバーもあり、当時住んでいたマンションから徒歩 3 分ほどだったから当然とも言える。で、あっさり到着。

1930 「好好清粥小菜」にて夕食 100 元。



1945 夕食を食べたばかりだということに、久しぶりに牡蠣オムレツが食べたくなり、50 元。初めて食べた時は、かかっているケチャップがやたらと甘くて、「ケチャップはやっぱカゴメっしょ。」とか言っていたのだが、慣れてしまうとこれが病みつきになる。牡蠣オムレツにはこのケチャップだなと感じられる。小ぶりの牡蠣が入ったオムレツで、手軽に食べられる味と量がうれしい。



その後、六合夜市に移動。

すると、偶然台湾の知り合いがいるではないか。その知り合いは宋老師。台湾の大学で音楽を教えている先生。とても明るくて日本語を流暢に使いこなす。マンションの契約の時、通訳に入ってくださったことで知り合った。台湾の音楽のことなど様々なことを教えていただいた。偶然の再会を喜び合い、この後の予定もないことから、高雄にも新しいものがあるから案内してくれるという。近くにあったレンタサイクル55元(00)を借り、街を疾走。宋老師は車に折りたたみ自転車を積んでおり、入り組んだ街を移動する時にはさっと出して乗りこなす。さすがである。

2130 途中お茶を買っていただき、最初に案内してもらったのが高雄市内立図書館。



驚きである。これが図書館！この規模、この美しさ！しかし、驚くのはそこではない、蔵書の充実具合もそうだが、そこで学習する学生の多さとその真剣さ。既に気づいていたが、日本の中高生では追いつけない学びへの姿勢。教育関係者として、日本の将来が案じられる光景だ。

学習スペースというか、読書スペースの広さといい、明るさといい、館内の静かさといい、屋上の展望台といい、カフェといい、ケチのつけどころがない。基本的に大学の図書館や市立図書館などは好きなのだが、特にこの図書館は気に入った。近くにできないものだろうか。いやいや、待っているだけではいつまでたってもできないだろう。ではどうするか。自分で作ればいいのである。箱モノ行政が叩かれて久しいが、作りたいものは作りたい。そうなるまで以前から構想している(妄想している)私設バスケットボール特化型総合体育館建設に50億円、この高雄市内立図書館(58億円)に匹敵する私設図書館建設に60億。クラウドファンディングでは110億は難しいだろう。この高雄市内立図書館、実は国の補助なしで建てられている。もちろん、高雄市が立てているので、私設ではないのだが、それにしても企業、宗教団体、市民、外国人などからの莫大な寄付金で建てられたというのだ。この図書館にそれだけの価値を見出し、さらにそれにふさわしい金額をボンと払える財力と志がすごい。(ここでは男気などという、下品で貧相な単語は使わない。そうでなくても、女性にはそういう志がないのかという話にもなるわけで、最近はやりの女性の地位向上とかいうのとは関係なく、そういう男を安く前面に

出す化石的思考が気に入らないだけだ。もちろん個人的な発想であり、そういった前時代的な価値観が好みの人がいなくても、それについて異議を唱えるものではない。) 図書館の話からかなり違う方向へ話が跳んだ。とにかく、ちょっとした施設建設のために110億ほどの小遣いが欲しいということだ。また、もっと出してくれるというのなら、アフリカ、アフガニスタン、パキスタン辺りへの淡水化プラントによる圧倒的な量の灌漑用水の供給施設も作りたいし、仕方ないからオーストラリア内陸部、最近枯渇しつつある北アメリカの地下水への淡水供給事業もやってあげてもいい。それに伴って大規模植林もしておきたいので、できればもう少し小遣いが欲しいものだ。実は北アメリカの地下水枯渇問題には緊急に対応しなければならない理由がある。アメリカ大陸の中西部～南西部にかけて総面積450,000km²に広がるオガララ帯水層と呼ばれる広大な地下水層があり、それを無計画に無自覚に組み上げまくった結果、完全に枯渇した地域もある。これの何が問題かという、アメリカの農業を心配しているのではない。アメリカの人々には気の毒だとは思いますが自業自得なのでコメントはない。問題はアメリカだけではなく地球にも及ぶ。地下水層がなくなることで砂漠化が進行する共に地表に受ける熱が直接地温上昇に使われ、その結果、気温上昇の原因になっているのである。水がない分、バッファがないのである。水より土の方がすぐ温まり、すぐ冷える。こんなことは小学校3年生で学習する。二酸化炭素を悪者にして、注目されないようにしているが、地球温暖化の大きな原因の一つは地下水の汲み上げ過ぎ、つまりは地球からの無自覚で無慈悲な搾取にあるのだ。

旅でも登山でも、気を抜くと環境問題について考えてしまう。ま、よからう。

2200 図書館で高雄の若者の向学心に打ちのめされた後、LTRを見に行く。ライトレイルと言われたが、路面電車というかトラムというか。街中をゆっくり走る列車がいつの間にかできていた。しばらく、高雄に来ていない内にこんなにも変化していたのか。街中の探索が快適になること間違いなしである。将来的には環状線になるそうだが、現在、四分の一ほどできているようだ。その後、宋老師に油そばをごちそうになり、またの再会を約束して別れた。

2330 ホテル着。すぐ、行きつけのバブに向かう。そこでも知り合いに再会することとなった。

2500 ホテルに戻り、シャワーを浴びて寝る。

(本日の会計) 朝食計145, お茶50,
MRT計150, TRSR1445, 水20, sim300,
夕食計150, タクシー85, バブ1450
2日目現金支出合計3795円

(クレジット) 台北泊750元, 自転車55元
高雄泊23233円,

(つづく)